

兵庫県のコメツキムシ (1)

岸 井 尚

関西地方には甲虫類の研究者、あるいは趣味として蒐集する人が極めて多いが、府県単位でそのファウナがまとめられた例が少ない。特に同定の困難なコメツキムシ類は、甲虫類中でも大きなグループに属するにかかわらずそのようであり、Kishii(1966)の京都のもの、的場・平松(1973, 1974)、平松(1977)による和歌山のものがある位で、他は特定地域のものがあるに過ぎない。

兵庫県については、Candèze(1873)のLewis採集標本による模式産地となった種が多く、本邦のコメツキ類が正式に分類学の祖上についた最初の地の一つでもあり、比較的多くの特定小地域からの記録や、断片的報告はあるが、まとまったものは見当たらない。筆者(1963)はかつてやはり高橋寿郎氏の御好意により、42種の本科を記録したが、その後主として但馬地方のものについて高橋匡(1964, 1975a, b, c, 1976, 1978, 1982)が多くの種を記録した。この中で“但馬地方昆虫目録(予報第7報)”(1982)にその集大成とみなされるリストとして計78種のもものが報告された。今回筆者は高橋寿郎氏の御依頼で、広く県下から同氏により蒐集された資料の調査をしたが、この機会にこれ迄の記録も可能な限り網羅し、又筆者所有の兵庫県下未記録種についてはそのデータを含めて以下にこのリストを作製したものであり、その結果126種のもものが本県に分布することが判明した。これは京都府及び新潟県の略160種、和歌山県の140種に次ぐもので、福岡や岡山・栃木諸県の略130種に匹敵する種数となるが、隣接する京都や岡山と比較すると当然分布するはずの種で未発見のものがかかなりあり、今後の調査では京都と略等しい種数は分布するものと思われる。

リストはStibick(1979)の見解に従う配列としたが、一部筆者の考えを入れた所もある。又、従来の記録はその発表者(発表年)を今回の資料データの後に附したが、詳細なデータは省略した。なお資料データは採集地、頭数、(採集年月日)の順で記し、採集者名のないものはすべて高橋寿郎氏の採集によるもので、その詳細な採集地は下記の通りである。

文末になり極めて失礼であるが、資料面及び文献蒐集の上で多大なお世話を頂いた方々、特に今回の調査資料の恵与及び多くの文献類を快くコピーして頂き、かつ発表の機会まであたえられた高橋寿郎氏には厚く感謝するものである。又、石田 裕氏、水野弘造氏、高橋 匡氏及び渡辺昭彦氏にも資料面あるいは文献面で貴重な援助をいただき、こゝで心からの謝意を表すものである。

慶野松原(三原郡)、三草山(川辺郡)、妙見山(川西市能勢)、宝塚(宝塚市下佐曾利)、再度山・烏原・道場・木見・藍那・下谷上・長待山・山の街・太山寺(神戸市)、妙法寺・白川(神戸市須磨)、屏風浦(明石市藤江)、畑(加西市)、三谷・鳥羽・白山(多可郡)、砥ノ峯・笠形山・川上(神崎郡)、家島(飾磨郡)、三瀬山(相生市)、福知溪谷・水谷・原・赤西・音水・坂ノ谷(宍粟郡)、西紀町(多紀郡)、須留ヶ峯(朝来郡)、城崎(城崎郡)。

Subfamily PITYOBIINAE Hyslop

ヒゲコメツキ亜科

Tribe Pectocerini Gúrjeva

1. *Pectocera (Pectocera) fortunei fortunei* Candèze, 1873

ヒゲコメツキ

鳥原, 17 exs. (21.V, 1976; 17.VI, 1976; 22.V, 1979; 25.V, 1979; 23.V, 1980; 29.V, 1980; 5.VI, 1980; 7.VI, 1980; 11.V, 1981; 15.V, 1981; 19.V, 1981; 16.V, 1982; 6.VI, 1982; 1.V, 1983; 25.V, 1983; 5.VI, 1983; 26.VI, 1983), 妙法寺, 2 exs. (23.V, 1979), 家島, 1 ex. (26.V, 1978), 須留ヶ峯, 1 ex. (9.V, 1975. 遊摩正秀採), 三濃山, 1 ex. (20.V, 1973), 城崎, 1 ex. (17.V, 1970)。Candèze (1873. 模式標本), 戸澤 (1936), 山本 (1958), 岸井 (1963), 高橋 匡 (1964. 1975a, 1982), 西脇 (1965), 堀田 (1976. 1978a), 仲田 (1978. 1982), 上田 (1981)。

Subfamily PYROPHORINAE Candèze

サビキコリ亜科

Tribe Agrypnini Candèze

2. *Agrypnus (Agrypnus) binodulus binodulus* (Motschulsky, 1861)

サビキコリ

鳥原, 4 exs. (29.IV, 1969; 23.V, 1971; 30.IV, 1972; 1.V, 1981), 三濃山, 3 exs. (3.V, 1969; 7.V, 1972; 18.V, 1974), 音水, 3 exs. (31.V, 1972; 21.V, 1972; 11.VI, 1972), Candèze (1873), Harold (1876), Heyden (1879), 三輪 (1935), 戸澤 (1936. *binodulatus* と誤記), 山本 (1958), 岸井 (1963), 辻 (1963), 高橋 匡 (1964, 1975a, 1982), 西脇 (1965), 辻・岸田 (1972), 奥谷 (1974), 堀田 (1976. 1978a.b), 有本 (1977), 仲田 (1978, 1982), 木下 (1982)。

3. *A. (A.) cordicollis* (Candèze, 1865)

ムナビロサビキコリ

福知溪谷, 1 ex. (3.VI, 1975. 遊摩正秀採)。岸井 (1963), 辻 (1963), 辻・岸田 (1972), 奥谷 (1974), 高橋 匡 (1982)。

珍しい種類ではないが、兵庫県下での採集例は比較的少ない。

4. *A. (Sabikiorius) fuliginosus* (Candèze, 1865)

ホソサビキコリ

Heyden (1879), Miwa (1934)。各地に多い種であるが、これも又本県下からの記録は40年以上前のもののみである。筆者の所蔵するものに下記のものがあるので記録しておく。

Mt. Asaka in Hyogo, 1 ex. (12. VII, 1948, 高橋史樹採)。

5. *A. (Colaulon) scrofa scrofa* (Candèze, 1873)

ヒメサビキコリ

鳥原, 11 exs. (9. III, 1975; 31. VII, 1977; 3. IV, 1983; 5. IV, 1983), 三谷, 1 ex, (2. VIII, 1975), 慶野松原, 1 ex. (26. V, 1983)。Miwa (1934), 山本 (1958), 岸井 (1963), 辻 (1963), 辻・岸田 (1972), 奥谷 (1974), 高橋 匡 (1975c, 1982), 仲田 (1978, 1982)。

6. *A. (C.) hypnicola* (Kishii, 1964)

コガタヒメサビキコリ

高橋 匡 (1975a, 1982)。基本標本産地の京都木津川河原からは極めて多くの個体が得られているが、それ以外の地域では少ない。現在確実な分布地は新潟・石川・千葉・愛知・京都・大阪・兵庫・和歌山・岡山・島根・徳島・福岡・熊本の諸県である。従来の記録では屢々本種の種名として“*hyponicola*”を用いる例が多いが、これは誤りである。

7. *A. (C.) miyamotoi tsukamotoi* (Kishii, 1956)

ハマベオオヒメサビキコリ

大平・有本 (1976), 高橋 匡 (1982)。従来の記録では姫路市浜田海岸及び美方郡浜坂町からの報告をみるのみであるが、筆者の所有標本中に淡路島からのものがあるので下記しておく。

姫口浜, 13 exs. (31. III, 1977, 渡辺昭彦採)。

8. *Adelocera (Brachylacon) difficilis* (Lewis, 1894)

シロオビチビサビキコリ

三濃山, 1 ex. (20. V, 1973)。岸井 (1963), 高橋 匡 (1976, 1982)。兵庫県からは従来 *microcephalus* の種名で報告されたものである。いわゆる照葉樹林の葉上にみられる。

9. *Lacon (Alaotypus) maeklinii maeklinii* (Candèze, 1865)

オオサビコメツキ

Lewis (1894), 山本 (1958), 山本・高橋 (1962, *nakanei* として記録しているが、これは明らかな誤記であろう), Kishii (1966), 堀田 (1978), 仲田 (1978, 1982)。

Tribe Chalcolepidiini Lacordaire

10. *Paracalais berus* (Candèze, 1864)

ウバタマコメツキ

鳥原, 8exs. (5.V, 1968; 5.VI, 1980; 7.VI, 1980; 13.VI, 1980; 22.VI, 1980; 22.VII, 1980; 26.VIII, 1980; 25.V, 1982), 妙法寺, 1ex. (20.II, 1979), 慶野松原, (26.V, 1983)。Harold (1876), Heyden (1879), 戸澤 (1936), 山本 (1958), 堀田 (1959, 1976), 岸井 (1963), 高橋 匡 (1964, 1975c, 1982), 仲田 (1978, 1982), 上田 (1981), 高橋寿郎 (1981), 登日 (1982)。

11. *P. larvatus pini* (Lewis 1894)

フタモンウバタマコメツキ

再度山, 1ex. (20.VI, 1979), 鳥原, 3exs. (24.V, 1979; 17.VI, 1980; 19.VIII, 1980), 宝塚市武庫川町, 1ex. (8.VI, 1981, M.Ninomi leg.)。野村 (1938), 野崎 (1942), 黒佐 (1955), 山本・高橋 (1962), 高橋 匡 (1975c, 1982)。従来 *Alaus putridus* 又は *A. pini* として報告されていたものであるが、最近は上記種名が用いられている。

Tribe Hemirhipini Candèze

12. *Tetrigus lewisi* Candèze, 1873

オオクシヒゲコメツキ

鳥原, 1ex. (5.VIII, 1980)。Lewis (1894), Miwa (1934), 山本・高橋 (1962), 高橋 匡 (1964, 1978, 1982), 仲田 (1978, 1982)。

Tribe Conoderini Fleutiaux

13. *Aeoloderma agnata* (Candèze, 1873)

マダラチビコメツキ

三草山, 1ex. (5.VIII, 1980), 鳥原, 3exs. (28.VI, 1974; 5.VI, 1976; 8.IX, 1976), 木見, 1ex. (23.VI, 1980), 畑, 3exs. (29.VI, 1974)。山本 (1958), 岸井 (1963), 高橋 匡 (1964, 1975a, 1982), 辻・岸田 (1972), 奥谷 (1974), 仲田 (1978, 1982)。

14. *A. brachmana* (Candèze, 1859) スジマダラチビコメツキ

大平(1965)。南西諸島及び東南アジア各地に広く分布する暖地性海浜性種であり、四国の松山市及びMurozumi(?)からも若干の報告があるが、本州からの記録としては神戸市からの上記のものがあるのみであり、勿論本種としては最東北限分布となる。

Subfamily HYPNOIDINAE Schwarz ヒサゴコメツキ亜科

Tribe Hypnoidini Schwarz

15. *Colioascerus saxatilis* (Lewis, 1894) ヒラタクロコメツキ

大河内, 1 ex. (4. VI, 1977)。山本(1958)。北海道から九州までの各地で河川の河原から知られているが、兵庫県からの記録は少ない。

16. *C. fluviatilis* (Lewis, 1894) キアシヒラタクロコメツキ

鳥羽, 1 ex. (29. IV, 1972)。前種と同様の環境に棲息するが分布は前種より少ない。本種は兵庫県下未記録種である。なお共に雄の後翅は退化して飛行不能である。

Subfamily DENTICOLLINAE Reitter ベニコメツキ亜科

Tribe Athouini Candèze

17. *Kibunea eximia* (Lewis, 1894) ムラサキヒメカネコメツキ

鳥原, 1 ex. (12. V, 1983)。美しい上翅をもつ本種は本県下初の報告例となる。

18. *Gambrinus atricolor* (Lewis, 1894) クロカネコメツキ

鳥原, 1 ex. (2. V, 1971)。山本(1958)、仲田(1978, 1982)。関東地方から九州まで分布地が知られているが、多いものではない。

19. *G. rufipennis* (Lewis, 1894) ハネアカカネコメツキ

音水, 2 exs. (21. V, 1972, 11. VIII, 1972)。山本(1958)、奥谷(1974)。近畿地方では比較的よく採集されているが、他地方では少ないようで、愛知、岡山、徳島、福岡、熊本から報告されているのみである。

20. *G. vittatus* (Lewis, 1894) タテジマカネコメツキ

長待山, 1ex. (7. V, 1982), 砥ノ峯, 1ex. (15. VII, 1977)。Candèze (1873, 模式標本), 山本 (1958), 岸井 (1963), 辻 (1963), 辻・岸田 (1972), 奥谷 (1974), 高橋 匡 (1975a, 1982), 有本 (1977), 高橋寿郎 (1978), 仲田 (1978, 1982)。邦産カネコメツキ類の最普通種である。

21. *Nothodes marginicollis* (Lewis, 1894) ウスチャイロカネコメツキ

高橋 匡 (1975a, 1982)。青森から大分県まで分布域は広いが個体数は少ない。

22. *Athousius humeralis* (Miwa, 1927) カタアカホソコメツキ

岸井 (1963), 辻 (1963), 辻・岸田 (1972), 奥谷 (1974), 高橋 匡 (1975a)。分布域は広いが, 近畿地方では現在本県下からのみ知られているにすぎない。

Tribe Denticollini Reitter

23. *Denticollis miniatus* (Candèze, 1885) ミヤマベニコメツキ

鳥羽, 2exs. (29. IV, 1972; 1. VI, 1975), 川上, 1ex. (7. V, 1977), 原, 3exs. (21. V, 1979), 音水, 7exs. (4. V, 1972; 21. V, 1972; 11. VI, 1972; 13. V, 1973; 21. V, 1979), 赤西, 2exs. (27. V, 1979)。山本 (1958), 辻 (1963), 辻岸田 (1972), 奥谷 (1974), 高橋 匡 (1975a, 1982), 高橋寿郎 (1978)。これまでの記録はすべて *scutellaris* の種名でなされているが, これは上記種のシノニムとされ, 従来 *miniatus* と同定報告されていたものは次種である (Ohira, 1973)。

24. *D. nipponensis* Ohira, 1973 ベニコメツキ

槻並, 5exs. (4. V, 1979), 白山, 1ex. (3. V, 1973), 鳥羽, 1ex. (1. VI, 1975), 川上, 2exs. (7. V, 1977; 18. VI, 1977), 福知溪谷, 1ex. (3. VI, 1975, 遊摩正秀採), 音水, 7exs. (21. V, 1972; 13. V, 1973), 赤西, 2exs. (27. V, 1979), 坂名, 1ex. (9. VI, 1973)。Miwa (1934), 戸澤 (1936, *minatus* と誤記), 山本 (1958), 岸井 (1963), 辻 (1963), 辻・岸田 (1972), 奥谷 (1974), 高橋 匡 (1975a, 1982), 仲田 (1978, 1982), 高橋寿郎 (1978), これらの記録の多くのものは *minatus* の種名でなされたものである。

Tribe Hemicrepidiini Champion

Subtribe Hemicrepidiina Champion

25. *Scutellathous suturalis* (Candèze, 1873)

ホソチャイロツヤハダコメツキ

Candèze (1873, 模式標本), Lewis (1894), 岸井(1963), 奥谷(1974), 高橋
匡(1975a, 1982), 仲田(1982)。

26. *S. comes comes* (Lewis, 1894)

チャイロツヤハダコメツキ

近畿地方からは京都でのみ従来報告されているが、筆者の所有標本中に本県から得られた下記の
ものがあるので記録しておく。前種とよく似ているので或はそれと混同して発表されてその可能性
もある。

六甲～有馬, 1 ex. (10. Ⅶ, 1955, 石田裕探), 氷ノ山, 2 exs. (25. Ⅶ, 1955, 石田裕探)。

27. *Harminathous nakanei* Kishii, 1955

フトツヤハダコメツキ

岸井(1963), Kishii (1966), 辻・岸田(1972), 奥谷(1974), 高橋 匡(1975a,
1982)。少ない種であるが、本県下からの記録例は他地方に比して多い。

28. *Harminius (Harminius) singularis nihonicus* Kishii, 1979

ニホンムネスジダンドラコメツキ

辻(1963), 辻・岸田(1972), 奥谷(1974)。従来記録されている種が上記種であるか
否かいさゝか疑問の点もある。或は *galloisi* が混入しているかも知れない。

29. *Stenagostus umbratilis* (Lewis, 1894)

オオツヤハダコメツキ

辻(1963), 辻・岸田(1972), 奥谷(1974), 高橋 匡(1975a, 1982), 有本(1977),
仲田(1978, 1982), 木下(1982)。

30. *Hemicrepidius (Hemicrepidius) desertor* (Candèze, 1873)

ヒメクロツヤハダコメツキ

砥ノ峯, 2 exs. (15. Ⅶ, 1977; 23. Ⅶ, 1977), 三瀨山, 1 ex. (6. , 1973), 水谷,
1 ex. (17. Ⅶ, 1981), 音水, 5 exs. (30. Ⅶ, 1972; 15. Ⅶ, 1973)。Lewis(1894,
1895), Miwa (1934), 中根・岸井(1955), 山本(1958, *subcyanus* として記録),

岸井(1963), 辻(1963), 辻・岸田(1972), 奥谷(1974), 高橋 匡(1975a, 1982), 堀田(1976), 高橋寿郎(1978)。邦産コメツキムシの中で最も色彩変異の多い種類でこれまで発表されたものでも14異常型が知られている。その中で前背板の完全に黒いものはほとんどが *virens* とされるもので、この名で独立種又は var., ab. などとして発表された例が多い。

31. *H. (H.) terukoanus* (Kishii, 1961)

チャバネツヤハダコメツキ

高橋 匡(1975b, 1976, 1982)。対馬, 徳島県剣山及び兵庫県氷ノ山, 扇ノ山に局所的に, しかも稀ならず得られるが, 他の地域では福井・和歌山・熊本等の諸県から少数知られるにすぎない。前種 *desertor* の異常型に *brunneipennis* とされるものがあり, これと極めてよく似た色彩をもつが, 触角基部数節の特徴と他の形態的差異で区別できる。

32. *H. (H.) secessus secessus* (Candèze, 1873)

クロツヤハダコメツキ

鳥原, 7 exs. (8. VII, 1973; 12. VI, 1976; 4. VII, 1980; 7. VI, 1982; 11. VII, 1983), 明石市, 1 ex. (26. VI, 1977), 鳥羽, 3 exs. (5. VII, 1975), 砥ノ峯, 5 exs. (15. VII, 1977; 23. VII, 1977), 水谷, 1 ex. (17. VII, 1981), 音水, 1 ex. (16. VII, 1972), 坂ノ谷, 3 exs. (22. VII, 1979)。Candèze (1873. 模式標本), Harold (1876), Miwa (1934), 山本(1958), 岸井(1963), 辻(1963), 辻・岸田(1972), 奥谷(1974), 高橋 匡(1975a, 1982), 有本(1977), 高橋寿郎(1977), 仲田(1978, 1982)。

33. *H. (Medakathous) jactatus jactatus* (Lewis, 1894)

ルリツヤハダコメツキ

砥ノ峯, 1 ex. (23. VII, 1977), 音水, 1 ex. (16. VII, 1972)。岸井(1963), 高橋 匡(1976, 1982)。属名として *Medakathous* が長く用いられていたが, 別属にするほどの差は少ないと思われる(Kishii, 1977)。高橋 匡(1975a)は *Althous inornatus* (?)を報告したが, これは本種のことと思われる。

34. *H. (Miwacrepidius) subcyaneus* (Motschulsky, 1866)

メダカツヤハダコメツキ

中根・岸井(1955), 山本(1958), 岸井(1963), 高橋 匡(1964, 1975a, 1982), 有本(1977), 仲田(1978, 1982)。*praenobilis* の種名で発表された例も多い。

Tribe Ctenicerini Fleutiaux

35. *Anostirus (Ipostirus) daimio* (Lewis, 1894)
ダイミョウヒラタコメツキ
辻(1963), 辻・岸田(1972), 奥谷(1974), 高橋 匡(1976, 1982)。
36. *Acteniceromorphus kurofunei* (Miwa, 1934)
ミヤマフトヒラタコメツキ
本県下からの記録はみられないが、筆者の手本に下記の標本があるので記録しておく。
Sasabe in Hyogo, 1 ex. (3. VI, 1966, 水野弘造採)。
37. *A. chlamydatus* (Lewis, 1894) ベニバナフトヒラタコメツキ
高橋 匡(1975a, 1982), 仲田(1982)。高橋 匡及び仲田の記録では *Actenicerus*
属となっているが、これは明らかな誤りである。
38. *Corymbitodes concolor* (Lewis, 1894) クロホソヒラタコメツキ
音水, 3 exs. (21. V, 1979), 赤西, 3 exs. (21. V, 1979; 27. V, 1979)。北海道
から九州まで各地で寧ろ普通に得られる種であるが、本県下では上記のものが初の記録となる。
39. *C. gratus* (Lewis, 1894) ドウガネヒラタコメツキ
鳥原, 3 exs. (11. V, 1975; 24. IV, 1981; 8. V, 1981), 藍那, 3 exs. (4. IV, 1979;
10. V, 1979), 三濃山, 1 ex. (18. V, 1974), 坂ノ谷, 1 ex. (9. VI, 1973)。岸井
(1963), 奥谷(1974), 高橋 匡(1975a, 1976, 1982), 有本(1977), 仲田(1978, 1982)。
40. *C. nikkoensis* (Jakobson, 1913) ベニホソヒラタコメツキ
辻(1963), 辻・岸田(1972), 奥谷(1974), 高橋 匡(1975a, 1982)。
41. *Actenicerus pruinosus* Motschulsky, 1861 シモフリコメツキ
三濃山, 2 exs. (3. V, 1969; 18. V, 1974)。Miwa (1934), 山本(1958), 岸井
(1963), 辻(1963), 西脇(1965), 辻・岸田(1972), 奥谷(1974), 高橋 匡
(1975a, 1982), 有本(1977), 高橋寿郎(1978), 仲田(1978, 1982)。

42. *A. yamashitai* Ohira, 1968

ホソシモフリコメツキ

大河内, 1ex.(7. V, 1977), 音水, 1ex.(21. V, 1972)。高橋 匡(1975a)。主な棲息分布域は関東山地以北で東北地方に多いが、近畿地方でも北部山岳地帯に分布しており、北但地方はその西限地となる。

43. *A. aerosus* (Lewis, 1879)

コガタシモフリコメツキ

大河内, 1ex.(7. V, 1979), 赤西, 1ex.(10. V, 1970)。前多・他(1974)。本種は前種とは逆に近畿地方を主たる分布域として、しかも互によく似ているので同定の難かしい点がある。又前多・他(1974)の記録せる種が本種であるか否か極めて疑わしい

44. *A. orientalis* (Candèze, 1889)

オオシモフリコメツキ

藍那, 2exs.(5. VI, 1978), 三濃山, 1ex.(18. V, 1974), 赤西, 1ex.(10. V, 1970)。岸井(1963, *akitu* として記録), 辻(1963), 辻・岸田(1972), 奥谷(1974), 高橋 匡(1975a), 有本(1977), 仲田(1978, 1982), 岸井(1980)。木下(1982, ヒメシモフリコメツキとあるのは本種と思われる)。

45. *A. modestus modestus* (Lewis, 1894)

ヘリアカシモフリコメツキ

山本・高橋(1962), 辻(1963), 辻・岸田(1972), 奥谷(1974), 高橋 匡(1975a, 1982)。

46. *Eanoides puerilis* (Candèze, 1873)

シリプトヒラタコメツキ

山ノ街, 1ex.(29. V, 1976), 笠形山, 1ex.(12. VI, 1975)。山本・高橋(1962), 高橋 匡(1975b, 1982), 有本(1977), 仲田(1982)。

47. *Calambus mundulus* (Lewis, 1879)

クロツヤヒラタコメツキ

音水, 1ex.(21. V, 1972)。奥谷(1974)。北海道から九州まで広く分布し、かつそんなに珍しい種類でないが、本県下での記録は極めて少ない。

48. *Neopristilophus serrifer serrifer* (Candèze, 1873)

アカヒゲヒラタコメツキ

辻(1962), 岸井(1963), 辻・岸田(1972), 奥谷(1974), 仲田(1978, 1982), 高橋 匡(1982)。

49. *Selatosomus (Selatosomus) onerosus* (Lewis, 1894)

トラフコメツキ

Miwa (1934), 辻 (1963), 辻・岸田 (1972), 奥谷 (1974), 高橋 匡 (1982)。

50. *S. (S.) vagepictus* (Lewis, 1894)

ウストラフコメツキ

中根・岸井 (1956), 岸井 (1963), 奥谷 (1974), 仲田 (1978, 1982), 高橋 匡 (1982)。

51. *Paraphotistus notabilis notabilis* (Candèze, 1873)

オオヒラタコメツキ

山本 (1958), 西脇 (1965), 奥谷 (1974), 仲田 (1982)。

52. *P. praenobilis* (Lewis, 1894)

クロオオヒラタコメツキ

坂ノ谷, 1 ex. (9. VI, 1973)。この記録は兵庫県最初のものとなるが、前種の記録中に本種が含まれる可能性もあるものと思われる。

Subfamily ELATERINAE Leach コメツキ亜科

Tribe Ampedini Fleutiaux

53. *Penthelater plebejus* (Candèze, 1873)

コナガコメツキ

三輪 (1935), 山本 (1958), 岸井 (1963), 高橋 匡 (1964, 1982), 仲田 (1982)。

54. *P. robustus* (Kishii, 1966)

フトナガコメツキ

Kishii (1966, 模式標本)。本県下からは原記載時猪名川町及び香住町からの2頭の標本が副模式標本として用いられているが、その後の記録はない。記載時他に新潟・岐阜・京都・滋賀・大阪・徳島からも報告されたが、それ以後では門脇・藤村 (1977) が島根県から、門脇 (1978) が隠岐ノ島から記録した位である。前種によく似ているが、触角基部数節の特徴及び、雄生殖器構造の著しい違いで判別は困難でない。

55. *Haterumelater bicarinatus bicarinatus* (Candèze, 1873)

チャイロコメツキ

Lewis (1894), Miwa (1934), 三輪 (1935), 山本・高橋 (1962), 岸井 (1963),

高橋 匡 (1964, 1975a, 1982), 辻・岸田 (1972), 奥谷 (1974), 有本 (1977),
仲田 (1982)

56. *Ectamenogonus rugipennis* (Lewis, 1894)

アラハダチャイロコメツキ

山本・高橋 (1962), 高橋 匡 (1964, 1982), Kishii (1966)。分布域は広いが少ない
種で, 灯火に集まる例が多い。

57. *Ischnodes sanguinicollis* (Panzer, 1793)

ムネアカクロコメナツ

山本・高橋 (1962), Kishii (1966), 高橋 匡 (1975a, 1982)。ヨーロッパの中, 北
部を原産地とする美しい種で, 本邦からは山形・福島・神奈川・京都・兵庫・福岡の 6 府県からの
み知られているにすぎない。兵庫県下では春日町, 豊岡市, 扇ノ山から得られているが, 京都の例
ではケヤキの樹皮下で成虫越冬していることが多い。

58. *Pseudelater carbunculus* (Lewis, 1879)

ヒメクロコメツキ

北宝塚, 1 ex. (13. V, 1983), 鳥羽, 1 ex. (29. IV, 1972), 三瀬山, 1 ex. (6. V,
1973), 音水, 4 exs. (31. V, 1970; 21. V, 1972; 11. VI, 1972), 城崎, 1 ex. (17.
V, 1970)。岸井 (1963), 辻・岸田 (1972), 奥谷 (1974), 高橋 匡 (1975a, 1982)。
有本 (1977) 高橋寿郎 (1978), 仲田 (1978, 1982)。

59. *Ampedus (Lewisiellus) gracilipes* (Lewis, 1894)

ミヤマタテスジコメツキ

高橋寿郎 (1978)。岩手県から福岡県まで広く分布するが, 個体数は極めて少ない。本県でも
大河内からの上記の報告があるのみである。

60. *A. (Ampedus) orientalis* (Lewis, 1894)

アカコメツキ

高橋 匡 (1975b, 1982)

61. *A. (A.) optabilis* (Lewis, 1894)

オオアカコメツキ

赤西, 1 ex. (21. V, 1979)。山本・高橋 (1962)。前種によく似た種で同定を誤り易い種
である。

62. *A. (A.) fagi* (Lewis, 1894) アカアシアカコメツキ
 山本・高橋(1962), Kishii(1966)。柏原町からの記録があるのみであるが、近畿北部山岳地で珍しいものではない。
63. *A. (A.) vestitus vestitus* (Lewis, 1894) ケブカクロコメツキ
 Kishii(1966), 仲田(1978, 1982)。高橋 匡(1982)。
64. *A. (A.) tenuistriatus* (Lewis, 1894) ホソクロコメツキ
 音水, 1ex.(31. V, 1970)。高橋 匡(1975b, 1982)。本県からの報告例はほとんどないが、近畿地方全般にむしろ個体数の多い種である。
65. *A. (A.) aureovestitus* Kishii, 1966 キンモウクロコメツキ
 高橋 匡(1975a, 1976, 1982)。前種に極めてよく似ているが、毛色及び上翅間室の状態が異なる。しかし多数個体を検すると判定の困難なものもあり、両性生殖器構造でも同様でこれらは同一種かも知れない。この点については別の機会に明らかにする所存である。
66. *A. (A.) hypogastricus hypogastricus* (Candèze, 1873) アカハラクロコメツキ
 鳥原, 1ex.(14. V, 1972), 道場, 1ex.(13. IV, 1974), 妙法寺, 1ex.(28. V, 1978), 鳥羽, 4exs.(29. IV, 1972; 5. VII, 1975), 大河内, 2exs.(7. V, 1977; 4. VI, 1977), 三濃山, 4exs.(3. V, 1969; 6. V, 1973; 28. IV, 1974), 原, 1ex.(11. V, 1979), 赤西, 1ex.(10. V, 1972), 音水, 6exs.(4. V, 1972; 21. V, 1972; 11. VI, 1972; 13. V, 1983), 西紀町, 3exs.(20. IV, 1982)。三輪(1935), 山本(1958), Kishii(1961), 岸井(1963), 久松(1973), 奥谷(1974), 高橋 匡(1975a, 1982), 堀田(1978b), 高橋寿郎(1978), 仲田(1978, 1982)。
67. *A. (A.) japonicus japonicus* Silfverberg, 1977 アカアシクロコメツキ
 山本(1958), 奥谷(1974), 高橋 匡(1975a, 1976, 1982)。従来の記録で *A. (A.) rufipes* とされていた種である。

Tribe Megapenthini Gurjeva

68. *Procræus (Agaripenthes) helvolus* (Candèze, 1873)

ヒメホソキコメツキ

妙見山, 11 exs. (30. Ⅷ, 1982)。Lewis (1894)。本県下では Lewis 以来の記録となるが、分布域も北海道から九州まで広く、そんなに珍しい種でもない。

69. *Gamepenthès ornatus* (Lewis, 1894)

コキマダラコメツキ

坂ノ谷, 1 ex. (22. Ⅷ, 1979)。岸井 (1963), 奥谷 (1974), 高橋 匡 (1975c, 1982)。

70. *G. versipellis* (Lewis, 1894)

メスアカキマダラコメツキ

坂ノ谷, 1 ex. (22. Ⅷ, 1979)。山本 (1958), 岸井 (1963), 辻 (1963), 辻・岸田 (1972), 奥谷 (1974), 高橋 匡 (1975a, 1982)。

71. *G. pictipennis* (Lewis, 1894)

キマダラコメツキ

高橋 匡 (1975c, 1982)。本州中北部の山岳地に分布中心があり、本県は本州では西限分布地となる。

72. *Megapenthès opacus* Candèze, 1873

ムネアカツヤケシコメツキ

Candèze (1873, 模式標本), Lewis (1894), 山本・高橋 (1962), Kishii (1966)。美麗かつ珍しい種であるが、基本標本産地である本県下からの記録は他地方に比し多い。

73. *Hayekpenthès pallidus pallidus* (Lewis, 1894)

ホソキコメツキ

辻 (1963), 辻・岸田 (1972), 奥谷 (1974), 高橋 匡 (1982)。

(コメツキ亜科 未完)